

経営体の概要

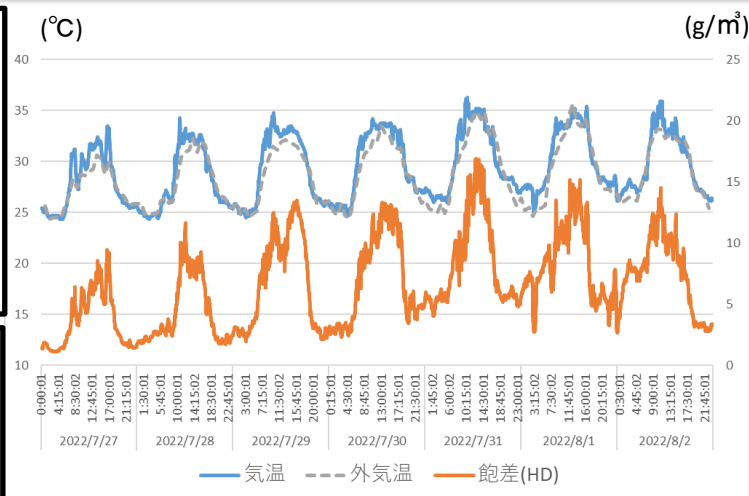
- ・所在地：富山県入善町
- ・経営体名：みな穂ういずOneの会高温対策協議会
- ・栽培作物・施設面積：ミニトマト18a
- ・構成員数：3経営体（令和6年5月現在）

導入技術

- 環境モニタリングと細霧冷房による昇温抑制技術
- ・環境モニタリング装置（(株)IT工房Z製）
- ・細霧冷房装置（ネタフィルムジャパン(株)製）
- ・多段階式加湿制御装置（(株)ティアンドデイ製）

導入経緯

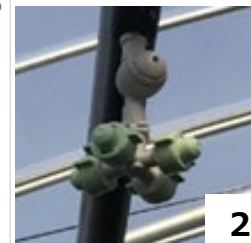
- 入善町における施設ミニトマト栽培では、3～5月に定植し、6～11月頃まで収穫を行う長期どりが行われている。
- 特に夏の高温期は、樹勢の低下により収量の伸び悩みが見られる。
- このため、ハウス内環境のモニタリングを行いながら生育診断を行うとともに、細霧冷房による夏期の昇温抑制技術の確立に取り組んだ。



細霧冷房の利用による気温と飽差の推移
（7月27日～8月2日）



1



2

1 環境モニタリング装置
2 細霧冷房装置

取組の特徴・効果

- 環境モニタリングシステムのリースにより、ハウス内の温度・湿度・CO₂濃度・土壌水分をスマートフォンで常時確認できるようになった。
- また、茎径や開花花房位置等を組み合わせた生育診断法の確立により、生育状況に応じた肥培管理が可能となった。
- 令和4年度は多段階式過湿制御装置の設定を時期別に行うことにより、ハウス内気温と外気温の差が少なく、効果的に飽差管理を行うことが可能となった。